

8. 講演会

期 間 : 令和2年3月13日(金) 10時30分～16時30分 (中止)
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 国立研究開発法人 建築研究所

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止とした。以下は予定していたプログラムである。

プログラム

	10:30	開会		
●開会挨拶	10:35～	建築研究所	理事長	緑川 光正
○令和元年(2019年)台風第15号による建築物等の被害調査報告	10:40～	構造研究グループ	グループ長	奥田 泰雄
○巨大地震に対する鋼構造建築物の終局状態の評価と損傷検知	11:05～	構造研究グループ	上席研究員	長谷川 隆
○中高層木造建築物等の構造設計技術の開発	11:30～	材料研究グループ	上席研究員	槌本 敬大
○木質内装の火災安全設計法の研究	11:55～	防火研究グループ	上席研究員	鍵屋 浩司
	12:20～	パネル展示の紹介		
	12:35～	昼休み パネル展示		
○国際地震工学研修60年の歩み	13:35～	国際地震工学センター	センター長	横井 俊明
○省エネ法改正に伴う住宅・建築物の新たな評価基準の開発	14:00～	環境研究グループ	主任研究員	三浦 尚志
○建築物の外壁の定期調査における新たな技術の適用に向けて	14:25～	建築生産研究グループ	上席研究員	眞方山美穂
○空き家の改修による高齢者等の居場所づくり	14:50～	住宅・都市研究グループ	上席研究員	米野 史健
	15:15～	休憩		
●特別講演『都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して』	15:30～	北海道大学名誉教授		越澤 明
	16:30	閉会		

パネル展示 コアタイム (12:35～13:35)

枠組壁工法4層鉛直構面の静的水平載荷実験	構造研究グループ	主任研究員	中島 昌一
鉛直2000t, 水平2方向加力装置	構造研究グループ	主任研究員	中村 聡宏
東京23区における都市開発諸制度により創出された緑地の特徴	環境研究グループ	主任研究員	熊倉 永子
重量床衝撃音遮断性能の発生系と予測手法に関する基礎的研究	住宅・都市研究グループ	主任研究員	武田ゆうこ
サステナブル建築物等先導事業(省CO ₂ 先導型)における採択事業の概況	環境研究グループ	研究員	平川 侑
動物実験に替わる防火材料のガス有害性評価手法の開発	環境研究グループ	専門研究員	牧 奈歩
災害廃棄物等を用いたリサイクルコンクリートの実用化に関する調査	防火研究グループ	研究員	趙 玄素
建築物の点検調査および災害調査におけるドローン技術の開発と社会実装に向けた取組み	材料研究グループ	シニアフェ ロー	棚野 博之
鉄筋コンクリート構造物における鉄筋腐食とコンクリートの含水状態の関係に関する研究	材料研究グループ	主任研究員	宮内 博之
		主任研究員	松沢 晃一

建築の設計から維持管理までの一貫した情報化(BIM)の加速化とその対応	建築生産研究グループ	上席研究員	武藤 正樹
	建築生産研究グループ	グループ長	高橋 暁
	建築生産研究グループ	上席研究員	眞方山美穂
	建築生産研究グループ	研究員	高林 弘樹
	建築生産研究グループ	主任研究員	岩田 善裕
	建築生産研究グループ	研究員	高林 弘樹
海岸線からの距離及び標高による津波波力の低減に関する研究	住宅・都市研究グループ	上席研究員	岩見 達也
建築部材部品を対象とした3次元形状の取得方法に関する研究	住宅・都市研究グループ	研究員	中野 卓
模型実験を活用した市街地火災性状予測	国際地震工学センター	上席研究員	小豆畑達哉
商業系用途地域内の住環境整備に向けた建築規制・誘導に関する研究	国際地震工学センター	主任研究員	諏訪田晴彦
国際地震工学研修の成果事例	国際地震工学センター	上席研究員	小豆畑達哉
鉄筋コンクリート部材の構造実験データのばらつきと数値解析の精度に関する研究			